

第 107 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 30 年 7 月 22 日（日）

@type エンジニア転職フェア（有楽町 東京国際フォーラム）

2. 来場者数 1,340 名

来訪者 37 名

3. 東京国際フォーラムで開催された@type エンジニア転職フェアにおいて、ITER 紹介用マンガポスター、ITER Japan の活動状況ポスター、ITER 計画の最新建設状況ポスター、パンフレット、チラシを展示し、ITER 機構職員の状況や ITER 機構職員公募に関する説明を行った。

（ITER 計画管理グループ 三上）

4. 主な Q&A

Q：ITER 計画とは何ですか？

A：ITER 計画は、平和目的の核融合エネルギーが利用可能であることを実証するため、人類初の核融合実験炉を建設・運転しようとする大型国際協力プロジェクトです。ITER 計画は、2025 年ごろの運転開始を目指し、日本・欧州連合(EU)・ロシア・米国・韓国・中国・インドの 7 極により進められています。ITER 計画は、国際協力における前例のない挑戦です。この国際協力は 1985 年ジュネーブでの米ソ(当時)首脳会談をきっかけとして開始されました。

Q：ITER サイトはどこにありますか？

A：ITER の建設サイトは、国際的な観光地としてよく知られた南仏プロバンス地方にあります。サンポール・レ・デュランスという市に有り、フランス原子力庁カダラッシュ研究センターに隣接しています。最寄りの国際空港はマルセイユ空港となります。マルセイユからカダラッシュまでは 70km ほどあり、車で約 1 時間かかります。

Q：ITER で発電を行うのですか？

A：ITER は実験炉ですので、発電は行いません。実験炉で核融合に必要な基礎技術の確認を行い、次のステップ（原型炉・実証炉）に向かうための知見を得ることを目標としています。

Q：ITER 機構では、何人くらい日本人が働いていますか？

A：日本人は、ITER 機構職員合計 842 人のうち、専門職員（経験のある技術者・研究者）26 人、支援職員（秘書、技術支援等）3 人の計 29 人が働いています。（2018 年 5 月末）

Q：現在の業務が IT 系でプラズマや核融合の知識がないのですが、ITER 機構職員に応募できますか？

A：できます。ITER 機構公募はそれぞれの職種における経験者を求めており、現在公募されている IT ポジションにおいてはプラズマや核融合の知識を有していなくても十分活躍できます。

Q：どのような職種が公募されていますか？

A：1年を通して、様々な ITER 機構職員公募が出ています。核融合炉機器における管理者や技術者の公募が多いですが、ソフトウェア・ハードウェアの IT 関連、解析、CAD、工程管理や文系の人事、財務、広報など ITER 機構におけるほとんどの部門で公募が出されます。

Q：年齢制限はいくつですか？

A：ITER 機構では年齢制限を設けておりません。公募ポジションで最も活躍・貢献してくれる応募者が採用されます。

Q：ITER 機構への日本派遣者が減っている理由は何ですか？

A：現在、26名（7月現在）が IO で働いています。期限満了により日本に帰国した専門職が数人います。今後、日本から派遣する職員数を増やす努力を継続的に行っていきます。

Q：応募方法は？

A：ITER 機構のホームページから応募いただきます。応募時には応募者情報の他、CV と Cover letter を提出します。ITER 機構職員登録制度に登録いただければ日本国内機関がサポートします。

Q：量研機構の登録制度とはどんなものですか？どのようなメリットがありますか？

A：量研機構では、募集情報提供のための登録制度を設けており、登録者の方には最新募集情報、ネイティブによる応募書類の英文添削、面接の支援など、全面的なサポートを行っております。面接支援の一環としては、模擬面接ビデオの閲覧、面接英語のトレーニングなど役立つ支援を実施しています。ぜひご利用ください。登録料は一切かかりません。配信不要であればお電話、メールでその旨ご連絡いただければ、即解約もできます。



展示ブースの様子